

「音声言語障害における心理的な症状および精神的合併症に関する研究」について

慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科学教室では音声言語障害（声と言葉の疾患）の方を対象として、心理的な症状や精神的な合併症について調査をしています。

1 対象となる方

18歳以上の男女で、音声言語障害の当事者会に参加されている方。

2 研究課題名

音声言語障害における心理的な症状および精神的合併症に関する研究

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科学教室

4 本研究の意義、目的

吃音は言葉の非流暢性を特徴とした疾患です。吃音のある成人の場合、吃音のみでなく社交不安障害が合併することで、吃音に伴う問題が複雑となっていることが指摘されています。しかし、吃音以外の音声言語障害ではあまり社交不安障害との関連ははっきり言われておりません。そこで、音声言語障害の当事者会に参加されている方を対象として、質問紙検査を行うことで、社交不安障害の合併や心理的な症状があるかを調べたいと思います。もし吃音と同じように、多くの音声言語障害において社交不安障害と関連していることが明らかになれば、その視点をもつことでより有効な支援につながる可能性があります。

5 協力をお願いする内容

研究代表者が当事者会に直接おもむき研究を依頼いたします。年齢、性別、病名といった基本的な情報と、いくつかの質問紙検査（アンケート検査）にお答えいただきます。

6 本研究の実施期間

実施期間：研究実施許可日（通知書発行日）～2027年3月31日

7 プライバシーの保護

この研究で収集するデータは、個人を特定できないように厳重に管理されます。データは厳重に管理し、個人情報が出ないように、最大限の配慮をしております。なお、学会や専門学術誌などに公表する際にも、個人が特定されることはありません。

8 お問い合わせ

研究に関するご質問や、さらに詳細について知りたい方は、下記へご連絡ください。

富里周太 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室 助教

電話 03-5363-3827 FAX 03-3353-1261

メールアドレス otol.group@gmail.com

対応する時間帯 平日の午前 9 時から午後 5 時まで。